

Conversation openerとしてのほめ言葉-日米の文化的背景をめぐって-

小玉 安 恵

(1992. 12. 5. 発表)

I. はじめに

ある社会において、真に適切な発話を行うためには、「文法外のコミュニケーション能力」(ネウストプニー:1982)が必要との認識から、社会言語学的レベルでの言語行動の対照研究というものが不可欠であると思われる。

本研究は、日本語教育において、今まであまり関心の払われてこなかった「ほめ」について「いつ、どこで、だれに、何を、どのようにいうのか」とい発話のルールと「何をよいと評価するのか」という社会文化的価値観という観点から、日米間にどのような相違点があるのかを探ろうとするものである。

II. 調査方法

先行研究により、ほめが会話の初めの部分に頻繁に現れ、conversation openerとしての役割を果たす可能性が大きいこと、さらに誉めのトピックとして外見に関するものが多いことが指摘されている(Wolfson:1989)。そこで本調査では、Manes(1983)らにより、アメリカのほめの特徴としてあげられている事項と、熊取谷(1989)の指摘するほめの「相手の“変化”を承認する機能」を考慮に入れたうえで、目上、同等の相手に出会って、声をかける場面状況を設定したアンケート調査を行った(⇒[資料1])。

被験者は、以下の[表1]のとおりである。

回答者	日 本 人		合計	米 国 人		合計	計
性別 (sex)	男性(MALE)	23名	46名	男性(MALE)	19名	45名	91名
	女性(FEMALE)	23名		女性(FEMALE)	26名		
年齢層	18~30歳	46名		18~30歳	45名		
所属 大学名	男性	東大、大学生&大学院生		※EAPの大学生及び大学院生 (調査当時、在日2~3ヵ月め)			
	女性	お茶大大学生&大学院生					

[表1]

(※EAP=Education Abroad Program of Universities of California

トピック:容姿2《場面4》

A. 頻度 ⇨ ([資料2]のグラフ3)

誉め手/受け手	日本	米国	差	誉め手/受け手	日本	米国	差
女性→女の幼なじみ	69.1	20.8	48.8	女性→男の幼なじみ	59.1	20.8	38.3
男性→女の幼なじみ	69.6	47.4	22.2	男性→男の幼なじみ	50	36.8	13.2

[表4]

Ⅳ. まとめ

A. 日米の共通点

[トピックのルール]

- ・髪型は、日米の女性の間に意識的な頻度の差は、ほとんど見られないため、共通の誉めのトピックであるといえる。
- ・相手の「変化」というのは、誉めの起こる重要な要因となる。

[会話の参加者のルール]

- ・髪型に関する誉めは、同等の女性同士で交わされることが最も多く、男女とも目上の男性に対する誉めが最も少ない。

B. 日米の相違点

[トピックのルール]

- ・日本人男性は、髪型に関して、米人男性に比べ誉めの頻度が少なく、表現も間接的である。但し、女性の容姿に関してはその例ではない。
- ・日本では、容姿など自然に備わっている魅力や先天的な要素を高く評価するのに対し、アメリカでは評価を避ける傾向にある。

[会話の参加者のルール]

- ・日本人は、米国人に比べ、教師と友人の区別がはっきりしており、教師を誉めない傾向にある。

今回の調査では、誉めの頻度に関して「アメリカ人はよく誉めるが、日本人はあまり誉めない」ということは一概に言えないことが分かった。むしろ、それはそれぞれの社会や文化圏によって、トピックや会話の参加者に関わるルールが違うために起こる違和感の結果ではないかと思われる。また、その際に用いられる表現形式が、直接的か否かということも大いに関係してくる。

Ⅴ. おわりに

今回のアンケート調査は、実際の発話から収集したデータではないため、質

日本語学習歴は、一年未満1名、1~2年未満20名、2~3年未満16名、3年以上8名)

Ⅲ. 結果

トピック:髪型《場面2》

A. 頻度(「よくする」の割合に10%以上の差があるもののみ記載)

⇒([資料2]のグラフ1)

誉め手/受け手	日本	米国	差	誉め手/受け手	日本	米国	差
男性→女の友達	60.9	78.9	18	男性→女の先生	0	15.8	15.8
女性→男の友達	65.2	76	10.8	男性→男の先生	0	10.5	10.5
男性→男の友達	34.8	57.9	23.1				

[表2]

B. 表現形式 (アンケート回答例:対友人) ⇒([資料2]のグラフ4)

《日本》A)[+のコメント]:かわいくなったね。/似合うね。/なかなかいいんじゃない。/前よりいいよ。/イメージ変わった。

B)[-のコメント]:変な頭。/なにそれ?

C)[事実に言及確認]:髪、切った?/髪切ったね、

D)[事実確認と+のコメント]:該当例なし

E)[髪型以外に言及]:どうしたの?/何かあったの?/失恋でもした?

《米国》A)It looks good./Look better./I like your haircut.

B)Bitching.

C)Did you change your hair?

D)New haircut?I like it.

E)Your hair, what happened?

特徴:日本は、米国に比べC)事実言及型、E)髪型以外に言及が多い。

特に日本人男性の場合、その傾向が強い。米国は、A)+のコメントが多い。

トピック:容姿1《場面3》

A. 頻度 ⇒([資料2]のグラフ2)

誉め手/受け手	日本	米国	差	誉め手/受け手	日本	米国	差
女性→友達の彼	34.8	16	18.8	女性→先生の妻	43.1	0	43.1
女性→友の彼女	39.1	8	31.1	男性→先生の妻	13	0	13
男性→友の彼女	39.1	10.5	28.6				

[表3]

的には限界がある。また、今回は、限られた対人関係の中で、外見の誉めしか取り上げていない。今後は、以上のような課題を考慮し、誉めの包括的な研究を行うため、より多量で広範囲のトピックや対人構造に取り組みたい。そのためには、実際の発話を調査分析の対象とすることが不可欠であると考える。

〈参考文献〉

- 熊取谷哲夫(1989)『日本語における誉めの表現形式と談話構造』『異文化適応の理論的実践的研究(2)』広島大学教育学部日本語教育学科
- ネウストプニー(1982)『外国人とのコミュニケーション』岩波書店
- Manes, J(1983). Compliments: A mirror of cultural values. In Wolfson & Judd eds. Sociolinguistics and Language Acquisition. Newbery H
- Wolfson(1989). The Social Danamics of Native and Nonnative Variation in Complimenting Behavior: In Miriam Einsenstein eds. The Dynamic Interlanguage: 219-236. New York: Plenum.

[資料1] (日本人用)

現在までのあなたの大学生活を振り返ってみて次のような状況に立ったとき、もしない場合には推測で、あなたはどのような言語行動を取るか、あるいは取っているかについて正直にお答え下さい。

【2】大学でa~dの人に会いました。その人は髪を切って新しい髪型にしていました。あなたはその人に話しかける場合、①その新しい髪型を話題として取り上げることがあります。②また、取り上げるとしたら、どのような言い方をするか書いて下さい。但し、髪型の変化に気が付かないことが多くて(あまりしない)を選ぶ場合には、③の余白にそのことを明記して下さい。

a) 女の友人の場合

b) 男の友人の場合

①(よくする、するときもある、あまりしない) ①(よくする、するときもある、あまりしない)
② ②

c) 女の大学の先生の場合

d) 男の大学の先生の場合

①(よくする、するときもある、あまりしない) ①(よくする、するときもある、あまりしない)
② ②

【3】パーティーで、知人の配偶者(彼、彼女)a~dを紹介されました。その際、彼あるいは彼女の容姿について知人に対して会話の初めや途中などに話題として触れることがあるでしょうか。当てはまるものを丸で囲んで下さい。但し、紹介された彼、彼女が目の前にいるために(あまりしない)を選んだ場合には、余白にそのことを明記して下さい。

a)女の友達の彼を紹介されたとき

b)男の友達の彼女を紹介されたとき

①(よくする、するときもある、あまりしない)

①(よくする、するときもある、あまりしない)

c)先生の犬を紹介されたとき

d)先生の妻を紹介されたとき

①(よくする、するときもある、あまりしない)

①(よくする、するときもある、あまりしない)

【4】長年会っていないかった幼なじみと偶然会った時、①彼/彼女の外見の変化を話題として取り上げることがありますか。②取り上げるとしたら、実際何と言うか書いて下さい。

a)女の幼なじみの場合

b)男の幼なじみの場合

①(よくする、するときもある、あまりしない)

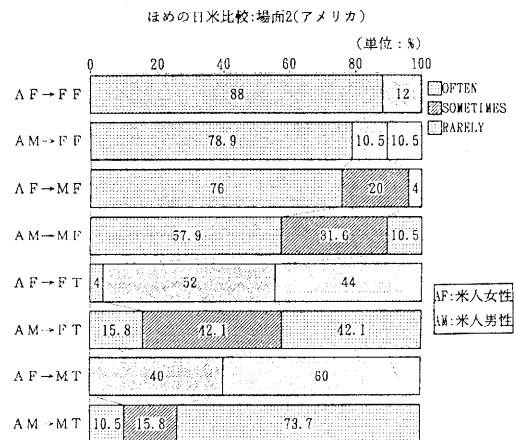
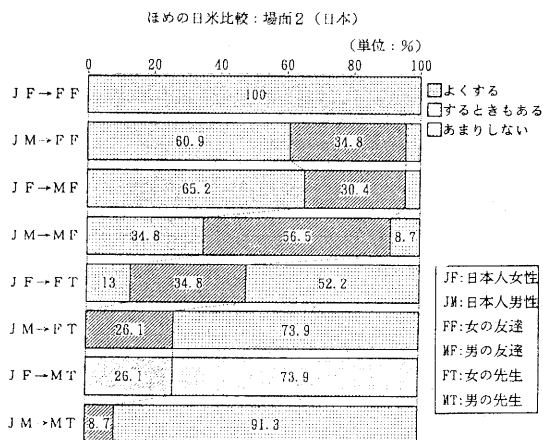
①(よくする、するときもある、あまりしない)

②

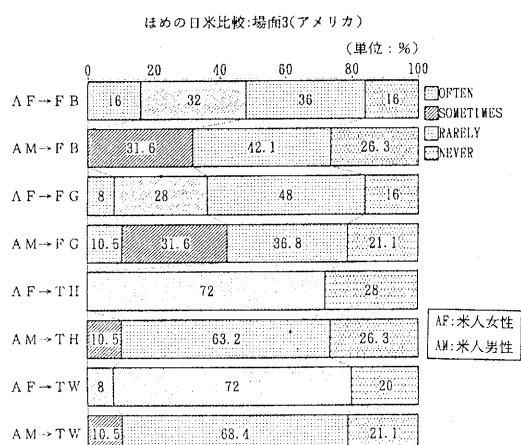
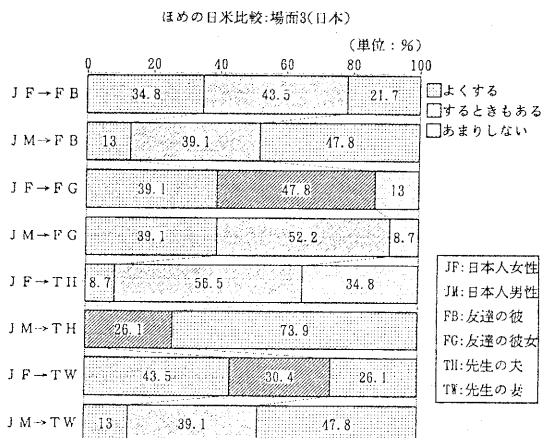
②

[資料2]

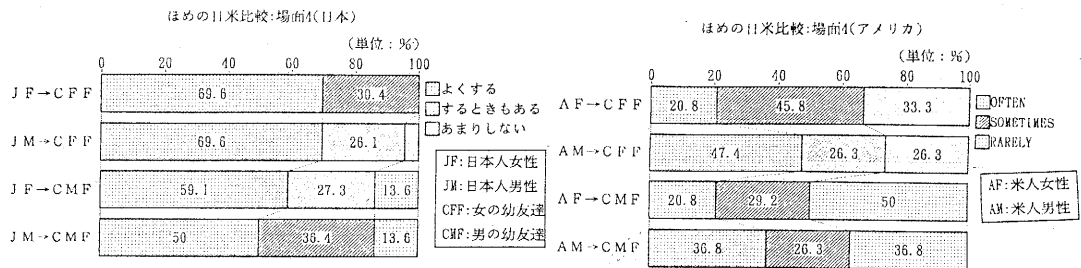
グラフ1:髪型



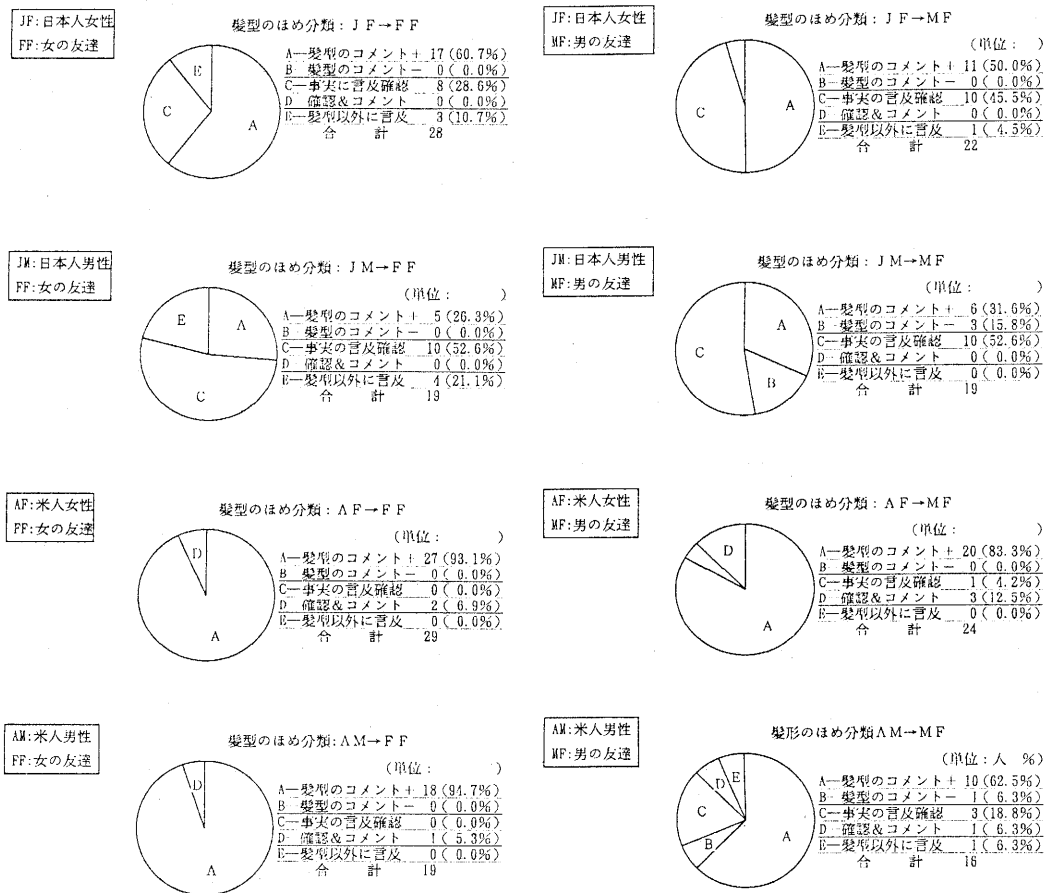
グラフ2:容姿1(ルックス)



グラフ3:長年会っていなかった友達の外見



グラフ4:ほめの表現形式:髪型(場面2):対友人



(ジョージタウン大学EFLコース)